

【公開日】 2025年 3 月 10 日

「情報公開文書」

受付番号：2024-4-176

課題名：腎機能低下に及ぼす尿酸関連分子の役割の解明

研究責任者：東北メディカル・メガバンク機構 教授 木下賢吾

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画の地域住民コホート、三世代コホート研究の参加者のうち年齢 20 歳以上（コホート参加時）の男女、20,000 例の情報。

2. 研究目的・方法

【研究期間】

2020 年 3 月（倫理委員会承認後）～2027 年 3 月 31 日

【研究目的】

尿酸関連遺伝子の機能低下を示す一塩基多型（バリエント）を指標に腎機能への尿酸関連遺伝子の寄与を明らかにする。

【研究方法】

前向き縦断研究として、対象者の *ABCG2* 遺伝子を初めとする尿酸関連遺伝子の一塩基多型（バリエント）の有無と、ベースライン調査と詳細二次調査の結果より得られた腎機能低下速度等の関連を検討する。また横断的研究として、*ABCG2* 遺伝子などの一塩基多型（バリエント）の頻度を明らかにして、各群における腎機能に係る検査値等を比較する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:

- 1) 【基礎項目】性別・年齢・脈拍・収縮期血圧・拡張期血圧・透析開始日時・死亡日時・診察日時・既往疾患（高血圧、糖尿病、高尿酸血症・痛風・多発性嚢胞症、糸球体腎炎、腎硬化症、IgA腎症・その他の疾患の有無）・観察期間・身長・体重・生活習慣（飲酒・喫煙・運動）・安静時心電図情報・観察期間中のeGFR変化量・一年間あたりのeGFR変化量・使用薬剤
- 2) 【血液検査項目】ヘモグロビン・赤血球数・白血球数・血小板数・総蛋白・尿素窒素・血清クレアチニン・血清尿酸値・Na・K・Cl・Ca・P・Mg・CRP・HDL-C・non HDL-C・LDL-C・中性脂肪・シスタチンC・eGFR(クレアチニン計算値)・eGFR(シスタチンC計算値)・血清 β 2ミクログロブリン・ α 1-ミクログロブリン・AST・

ALT・ γ -GTP・血糖値・HbA1c・グリコアルブミン・インタクトPTH・アルブミン補正Ca・血中BNP・NT-proBNP

- 3) 【尿検査項目】蛋白定性・潜血定性・尿比重・一日尿量・1時間あたりの尿量・尿中タンパク (TPU)・尿中尿素窒素 (UNU)・尿中尿酸値 (UAU)・尿中クレアチニン (CrU)・尿中Na (NaU)・尿中K (KU)・尿中Cl (ClU)・尿中Ca (CaU)・尿中P (PU)・尿中N-アセチルグルコサミニダーゼ・尿中 α 1-マイクログロブリン・尿中 β 2-ミクログロブリン・1日尿中タンパク量・1日尿中尿素窒素量・1日尿中尿酸量・1日尿中クレアチニン量・1日尿中Na量・1日尿中K量・1日尿中Cl量・1日尿中Ca量・1日尿中P量・尿糖
- 4) 【計算項目】BMI・BSA・アルブミン補正Ca・TPU/CrU・UNU/CrU・UAU/CrU・NaU/CrU・KU/CrU・ClU/CrU・CaU/CrU・PU/CrU・尿集尿酸排泄量・総尿酸排泄量・尿酸クリアランス・クレアチニンクリアランス
- 5) 【その他】メタボローム解析によって得られた体内尿毒症物質 (尿素・シュウ酸・インドキシル硫酸・硫酸イオン・マグネシウム・メチルグアニジン・グアニジノコハク酸・メチル化アルギニン・p-クレゾール・フェノール・馬尿酸・フランカルボン酸・プソイドウリジン・メチルアミン類・ポリアミン類・cAMP・ミオイノシトール・3-デオキシグルコソン・AGEs・リボヌクレアーゼ・化学走性抑制タンパク類など)・詳細二次調査による腎機能データ
- 6) ゲノム解析で得られた尿酸関連分子の遺伝子のバリエーション。
- なお、試料は用いない

4. 外部への試料・情報の提供

上記の情報については、スーパーコンピューター内に格納して共同研究者がアクセス出来るように提供する。スーパーコンピューター以外には持ち出さない。その管理については研究責任者が行う。

5. 関係研究組織

東京薬科大学 市田公美

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東北メディカル・メガバンク機構 基盤解析事業部 木下賢吾

〒980-8573 仙台市青葉区星陵町 2-1、022-274-6040

東北大学の東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート担当
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5161

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート担当
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5162

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。

(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合

以下、過去に掲載を行っていた文書

「情報公開文書」

受付番号：2021-4-015

課題名：腎機能低下に及ぼす尿酸関連分子の役割の解明

研究責任者：東北メディカル・メガバンク機構 教授 木下賢吾

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画の地域住民コホート、三世代コホート研究の参加者のうち年齢 20 歳以上（コホート参加時）の男女、20,000 例の情報。

2. 研究目的・方法

【研究期間】

2020 年 3 月（倫理委員会承認後）～2023 年 12 月 31 日

【研究目的】

尿酸関連遺伝子の機能低下を示す一塩基多型（バリエント）を指標に腎機能への尿酸関連遺伝子の寄与を明らかにする。

【研究方法】

前向き縦断研究として、対象者の *ABCG2* 遺伝子を初めとする尿酸関連遺伝子の一塩基多型（バリエント）の有無と、ベースライン調査と詳細二次調査の結果より得られた腎機能低下速度等の関連を検討する。また横断的研究として、*ABCG2* 遺伝子などの一塩基多型（バリエント）の頻度を明らかにして、各群における腎機能に係る検査値等を比較する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:

- 1) 【基礎項目】性別・年齢・脈拍・収縮期血圧・拡張期血圧・透析開始日時・死亡日時・診察日時・既往疾患（高血圧、糖尿病、高尿酸血症・痛風・多発性嚢胞症、糸球体腎炎、腎硬化症、IgA腎症・その他の疾患の有無）・観察期間・身長・体重・生活習慣（飲酒・喫煙・運動）・安静時心電図情報・観察期間中のeGFR変化量・一年間あたりのeGFR変化量・使用薬剤
- 2) 【血液検査項目】ヘモグロビン・赤血球数・白血球数・血小板数・総蛋白・尿素窒素・血清クレアチニン・血清尿酸値・Na・K・Cl・Ca・P・Mg・CRP・HDL-C・non HDL-C・LDL-C・中性脂肪・シスタチンC・eGFR(クレアチニン計算値)・eGFR(シスタチンC計算値)・血清 β 2ミクログロブリン・ α 1-ミクログロブリン・AST・ALT・ γ

—GTP・血糖値・HbA1c・グリコアルブミン・インタクトPTH・アルブミン補正Ca・血中BNP・NT-proBNP

3) 【尿検査項目】蛋白定性・潜血定性・尿比重・一日尿量・1時間あたりの尿量・尿中タンパク(TPU)・尿中尿素窒素(UNU)・尿中尿酸値(UAU)・尿中クレアチニン(CrU)・尿中Na(NaU)・尿中K(KU)・尿中Cl(CIU)・尿中Ca(CaU)・尿中P(PU)・尿中N-アセチルグルコサミニダーゼ・尿中 α 1-マイクログロブリン・尿中 β 2ミクログロブリン・1日尿中タンパク量・1日尿中尿素窒素量・1日尿中尿酸量・1日尿中クレアチニン量・1日尿中Na量・1日尿中K量・1日尿中Cl量・1日尿中Ca量・1日尿中P量・尿糖

4) 【計算項目】BMI・BSA・アルブミン補正Ca・TPU/CrU・UNU/CrU・UAU/CrU・NaU/CrU・KU/CrU・CIU/CrU・CaU/CrU・PU/CrU・尿集尿酸排泄量・総尿酸排泄量・尿酸クリアランス・クレアチニンクリアランス

5) 【その他】メタボローム解析によって得られた体内尿毒症物質(尿素・シュウ酸・インドキシル硫酸・硫酸イオン・マグネシウム・メチルグアニジン・グアニニコハク酸・メチル化アルギニン・p-クレゾール・フェノール・馬尿酸・フランカルボン酸・プソイドウリジン・メチルアミン類・ポリアミン類・cAMP・ミオイノシトール・3-デオキシグルコソン・AGEs・リボヌクレアーゼ・化学走性抑制タンパク類など)・詳細二次調査による腎機能データ

6) ゲノム解析で得られた尿酸関連分子の遺伝子のバリエーション

なお、試料は用いない

4. 外部への試料・情報の提供

上記の情報については、スーパーコンピュータ内に格納して共同研究者がアクセス出来るように提供する。スーパーコンピュータ以外には持ち出さない。その管理については研究責任者が行う。

5. 関係研究組織

東京薬科大学 市田公美

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東北メディカル・メガバンク機構 基盤解析事業部 木下賢吾

〒980-8573 仙台市青葉区星陵町 2-1、022-274-6040

東北大学東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート室
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5161

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート室
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5162

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。

(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合

「情報公開文書」

受付番号：2019-4-129

課題名：腎機能低下に及ぼす尿酸関連分子の役割の解明

研究責任者：東北メディカル・メガバンク機構・教授・川目 裕

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画の地域住民コホート、三世代コホート研究の参加者のうち年齢 20 歳以上（コホート参加時）の男女、20,000 例の情報。

2. 研究目的・方法

【研究期間】

2020 年 3 月（倫理委員会承認後）～2023 年 12 月 31 日

【研究目的】

尿酸関連遺伝子の機能低下を示す一塩基多型（バリエント）を指標に腎機能への尿酸関連遺伝子の寄与を明らかにする。

【研究方法】

前向き縦断研究として、対象者の *ABCG2* 遺伝子を初めとする尿酸関連遺伝子の一塩基多型（バリエント）の有無と、ベースライン調査と詳細二次調査の結果より得られた腎機能低下速度等の関連を検討する。また横断的研究として、*ABCG2* 遺伝子などの一塩基多型（バリエント）の頻度を明らかにして、各群における腎機能に係る検査値等を比較する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:

- 1) 【基礎項目】性別・年齢・脈拍・収縮期血圧・拡張期血圧・透析開始日時・死亡日時・診察日時・既往疾患（高血圧、糖尿病、高尿酸血症・痛風・多発性嚢胞症、糸球体腎炎、腎硬化症、IgA腎症・その他の疾患の有無）・観察期間・身長・体重・生活習慣（飲酒・喫煙・運動）・安静時心電図情報・観察期間中のeGFR変化量・一年間あたりのeGFR変化量・使用薬剤
- 2) 【血液検査項目】ヘモグロビン・赤血球数・白血球数・血小板数・総蛋白・尿素窒素・血清クレアチニン・血清尿酸値・Na・K・Cl・Ca・P・Mg・CRP・HDL-C・non HDL-C・LDL-C・中性脂肪・シスタチンC・eGFR(クレアチニン計算値)・eGFR(シスタチンC計算値)・血清 β 2ミクログロブリン・ α 1-マイクログロブリン・AST・ALT・ γ

—GTP・血糖値・HbA1c・グリコアルブミン・インタクトPTH・アルブミン補正Ca・血中BNP・NT-proBNP

3) 【尿検査項目】蛋白定性・潜血定性・尿比重・一日尿量・1時間あたりの尿量・尿中タンパク(TPU)・尿中尿素窒素(UNU)・尿中尿酸値(UAU)・尿中クレアチニン(CrU)・尿中Na(NaU)・尿中K(KU)・尿中Cl(CIU)・尿中Ca(CaU)・尿中P(PU)・尿中N-アセチルグルコサミニダーゼ・尿中 α 1-マイクログロブリン・尿中 β 2ミクログロブリン・1日尿中タンパク量・1日尿中尿素窒素量・1日尿中尿酸量・1日尿中クレアチニン量・1日尿中Na量・1日尿中K量・1日尿中Cl量・1日尿中Ca量・1日尿中P量・尿糖

4) 【計算項目】BMI・BSA・アルブミン補正Ca・TPU/CrU・UNU/CrU・UAU/CrU・NaU/CrU・KU/CrU・CIU/CrU・CaU/CrU・PU/CrU・尿集尿酸排泄量・総尿酸排泄量・尿酸クリアランス・クレアチニンクリアランス

5) 【その他】メタボローム解析によって得られた体内尿毒症物質(尿素・シュウ酸・インドキシル硫酸・硫酸イオン・マグネシウム・メチルグアニジン・グアニニコハク酸・メチル化アルギニン・p-クレゾール・フェノール・馬尿酸・フランカルボン酸・プソイドウリジン・メチルアミン類・ポリアミン類・cAMP・ミオイノシトール・3-デオキシグルコソン・AGEs・リボヌクレアーゼ・化学走性抑制タンパク類など)・詳細二次調査による腎機能データ

6) ゲノム解析で得られた尿酸関連分子の遺伝子のバリエーション

なお、試料は用いない

4. 外部への試料・情報の提供

上記の情報については、スーパーコンピュータ内に格納して共同研究者がアクセス出来るように提供する。スーパーコンピュータ以外には持ち出さない。その管理については研究責任者が行う。

5. 関係研究組織

東京薬科大学 市田公美

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東北メディカル・メガバンク機構人材育成部門 川目裕

〒980-8573 仙台市青葉区星陵町 2-1、022-274-6017

東北大学東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート室
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5161

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート室
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5162

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。

(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合